

令和元年度 第1回見附市地域公共交通活性化協議会議事録（要旨）

令和元年6月25日（火）
午後1時30分～2時45分
市役所4階 大会議室

文責：事務局（見附市企画調整課） 渡邊

【会議出席者】 委員19名 オブザーバー2名 事務局5名

（委員）

見附市長：久住時男
長岡技術科学大学名誉教授：松本昌二
越後交通（株）栃尾営業所長：河井正和
東日本旅客鉄道（株）長岡駅駅長：綿貫 茂（代理：山川昭夫）
国土交通省北陸地方整備局長岡国道事務所計画課長：焼田聡（代理：金川亨）
新潟県長岡地域振興局地域整備部計画調整課長：小林加津春（代理：関根正道）
見附市建設課長：高山明彦（代理：丸山源一郎）
見附タクシー協議会代表：長谷川信明
見附警察署長：高橋信之（代理：米山均）
見附青年会議所理事長：田中義一郎
社会福祉協議会会長：今野輝男（代理：土田雅明）
今町ほのぼの田園地区ふれあい協議会会長：高橋雅明
第二小区やすらぎの郷コミュニティ会長：家塚吉太郎
国土交通省北陸信越運輸局交通企画課長：井藤太亮（代理：佐武相明）
国土交通省北陸運輸支局新潟運輸支局首席運輸企画専門官：渡邊毅士
新潟県交通政策局交通政策課長：酒井良尚（代理：石井優紀）
見附商工副会長：坂田政元（代理：高橋昭）
まちなか東コミュニティ会長：栗林信夫
新潟県交通運輸産業労働組合協議会副議長：今井靖泰（代理：高橋哲文）

（オブザーバー）

見附市健康福祉課長：田伏真
見附市教育総務課長：森澤亜土

（事務局）

見附市企画調整課長：金井薫平
見附市企画調整課長補佐：遠藤拓央
見附市企画調整課：五十嵐直人
見附市企画調整課：寺澤正夫
見附市企画調整課：渡邊直樹

【開 会】13:30	
事務局	<p>それでは定刻となりましたので、ただ今から、令和元年度第1回見附市地域公共交通活性化協議会を開会いたします。</p> <p>はじめに協議会の会長であります、久住市長より挨拶をさせていただきます。</p>
会長	<p>皆様、こんにちは。本日はお忙しい中、令和元年度第1回見附市地域公共交通活性化協議会にお集りいただき、また本会議以外にも、市政全般様々にご尽力をいただいておりますことに対し、お礼を申し上げます。</p> <p>さて、各事業者様の協力のもと、コミュニティバス、デマンドタクシー、乗合バスを組み合わせ取組んでまいりました。昨年度コミュニティバスは182,155人、デマンドタクシーは3,382人、レンタサイクルは1,351回と、いずれも過去最高の利用者数を記録しました。</p> <p>多くの方に利用していただいている見附市の公共交通ですが、首都圏のような鉄道やバス路線網のようなものではありません。限りある資源を利用し、様々な工夫をすることで、利便性を確保してまいりました。市内中心地は循環型のコミュニティバス、郊外はフィーダー型のデマンドタクシーや乗合バス、これらのネットワークを組合せ、現在は市内中心地まで来ていただければ、30分を切る待ち時間で、コミュニティバスに乗ることが出来ます。買い物や通院しやすい便の設定、通勤通学時間帯の便の充実、市内主要公共施設へのアクセス、お祭りなどのイベント時の無料キャンペーンの実施など、多くの方が利用する、利用してみようと思う取り組みを通しながら、成長してまいりました。</p> <p>今ある資源を使うことで利便性を確保する取り組みが出来たからこそ、一過性ではなく持続可能な取組を可能にしてきたと考えています。</p> <p>全国的には運転手不足、人口減による利用者の減少による路線縮小、撤退等、公共交通を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いています。高齢社会が進み、公共交通の重要性が再認識される中、当市においても運転手不足の影響から、コミュニティバスの増車が計画通りに行えず、11名のドライバーとバス6台体制で運行していました。しかし、積極的な職員募集を行った結果、今年度は待望の新人女性ドライバーの入社があり、バスも7台目を導入する予定です。1名のドライバー増員と1台のバス増車、この資源を有効に使い、多くの方の利便性がより一層増すためにも、皆さまから様々なお知恵を拝借しながら進めていきたいと思っております。</p> <p>本日は、宜しく申し上げます。</p>

事務局	<p>それでは、引き続き会議を進行させていただきます。まず、本日の資料の確認をお願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 協議会委員名簿 ・ 座席表 ・ 資料 1 「平成 30 年度事業報告」 ・ 資料 2-1 「平成 30 年度収支決算（案）」 「見附市地域公共交通活性化協議会収入支出詳細」 補足 「平成 30 年度コミュニティバス運行経費収支について」 ・ 資料 2-2 「監査報告」 ・ 資料 3-1 「令和元年度事業について」 ・ 資料 3-2 「デマンド型乗合タクシー停留所の町内設置個所について（依頼）」 ・ 資料 4 「生活交通確保維持改善計画（案）」 ・ 資料 5 「【平成 30 年度版】見附市地域公共交通網形成計画進捗状況」 ・ その他資料 「平成 31 年度見附市コミュニティバス時刻表」 「見附市内公共交通路線網 平成 31 年 4 月」 「広報見附 7 月号のお知らせ広場」 <p>以上、資料に不足はございませんでしょうか。 なお、各委員のご紹介につきましては、お手元の委員名簿、座席表に代えさせていただきます。 それでは今後の会議の進行については、協議会規約第 12 条第 1 項にもとづき当協議会会長である見附市長よりお願いいたします。</p>
会長	<p>まず、規約第 12 条第 2 項の規程によりまして、委員の過半数が出席していることから、会議が成立していることを報告させていただきます。</p> <p>それでは、報告事項 1 「平成 30 年度事業」について事務局の説明を求めます。</p>
事務局	【資料 1】に基づき説明
会長	ただいまの説明について、ご質問等はありませんか。
会長	<p>その他、ご質問はありませんでしょうか。</p> <p>他にないようでございますので、続いて議事に入らせていただきます。議題 1 「平成 30 年度決算及び監査報告」について事務局の説明を求めます。</p>
事務局 田中委員	【資料 2-1～2-2】に基づき説明

会長	<p>ただいまの説明についてご質問はございませんか。</p> <p>質問がないようでございますので、「平成 30 年度決算及び監査報告」について案の通り承認することでご異議ございませんでしょうか。</p>
委員	異議なし。
会長	次に議題 2「令和元年度事業」について事務局の説明を求めます。
事務局	<p>【資料 3-1～3-2】に基づき説明</p> <p>※1.(3) コミュニティバスの目標については、議事 4 で説明を行いたい。</p>
会長	ただいまの説明にご質問はございませんか。
松本委員	コミュニティバスの位置情報サービス（doco です car）は文字が小さく分かりにくい。改善してほしい。
事務局	まず、現在のシステムが複数年契約となっているため、すぐに改善ができない。しかし、分析や研究を引き続き行っていきたい。
渡邊委員	コミュニティバスの内装デコレーションは、非常に良い取り組みと思う。子供を取り込めば、保護者や祖父母も乗ってくれる。この取り組みの予算措置はされているか。
事務局	資料 2-1 の事業費 81 を見てほしい。保育園協力のもと僅かな金額で行っているため、予算措置はしていない。
会長	<p>他に、ご質問はありますでしょうか。</p> <p>無いようでございますので、「令和元年度事業」について案の通り承認することでご異議ございませんでしょうか。</p>
委員	異議なし。
会長	次に、議事 3「生活交通確保維持改善計画」について事務局の説明を求めます。
事務局	<p>【資料 4】に基づき説明</p> <p>※2. (1) 事業の目標については、議事 4 で説明を行いたい。</p>
会長	<p>ただいまの説明についてご質問はございませんか。</p> <p>無いようでございますので「生活交通確保維持改善計画」について（案）の通り承認することでご異議ございませんでしょうか。</p>
委員	異議なし。

会長	次に、議事4「平成30年度 見附市地域公共交通網形成計画進捗状況」および「中間見直し」について事務局の説明を求めます。
事務局	【資料5】に基づき説明
会長	ただいまの説明について、ご質問等はありませんか。
栗林委員	バス停上屋の整備について、おしゃれで非常に良いが、雨が当たってしまう。今後、修繕等行う際は一考できないか。
事務局	バス停上屋は統一デザインで行った。花と緑あふれるお洒落な街づくりを行っているため、デザイン性も重視して作った。また、バス停の大きさだが、歩道の幅は除雪などのため、ある程度確保しなくてはならない。しかし、貴重なご意見をいただいたので、今後の状況見ながら改善できるところは改善を検討したい。
渡邊委員	中間目標の見直し令和2年度の目標が195,000人となっている。それに伴い、生活交通確保維持計画も、令和2年度の目標に数字を変えなくてはならない。【資料4】2.(1)は中間目標変更後の、令和元年度目標となっている。
事務局	ご指摘の通りです。【資料4】2.(1)は、令和2年度の目標数値に訂正します。
家塚委員	下塩線が廃止になりデマンドタクシーとなる。地域はバスという公共交通が無くなる事に不安がある。区長と相談した上で進めているとは思いますが、この場で、地域の声として伝えておきたい。
事務局	区長を通して話し合いを行いながら進めている。デマンドタクシーの方は、現状の乗合バスより利便性は上がると思う。使い方や停留所設置方法も説明を行った。今後は更に各地区と相談しながら、10月1日の運行開始に向け準備を進めていきます。
会長	私からも補足説明を行いたい。 デマンド型乗合タクシー（以下デマンド）が不自由だと誤解されている。6月初め、杉澤地区の代表者6名と直接会って、デマンドについて説明させていただいた。デマンドは、現在より便数も多い。電話一本、1時間前にかけるだけで、家の近くの停留所まで迎えに来てくれる。そのことを中心に説明をさせていただき、お会いした方には理解していただいたと思う。事務局も説明させていただいたが、伝わりきっていない部分もあった。今後も丁寧に説明を行いたい。
松本委員	コミュニティバスは、現在6台運行で、当初計画に近い目標値まで来ていると思う。今後の方向性として、台数を増やして利用者数を増やすのか。現状の台数で、利用者数をある程度達成していると

	<p>いう考えなのかを教えてください。</p>
会長	<p>この質問は、私から説明させていただいていいでしょうか。</p>
事務局	<p>それでは会長より説明をお願いします。</p>
会長	<p>国に提言した際に、なぜ10台かということが聞かれた。想定としては20分に1本の運行、利用者が時刻表を見ずにバスへ乗ることを目指した。時刻表を見なくても乗車が可能であれば、人は公共交通を使い始める。</p> <p>そのため、中心地を循環させるために10台が必要と想定した。しかし、実際は増車が計画通り進められなかった。今年10月からはバスが7台に増車される。運行間隔は26～27分くらいが可能となる。これが利用者にとって、待たずに乗れるという感覚になるのか、それとも足りないのかを検証したい。</p> <p>それを検証したうえで、目標値の見直しを改めて提案したい。</p>
会長	<p>以上になりますが、ただいまの説明について、ご質問等はございませんか。</p> <p>無いようでございますので「平成30年度 見附市地域公共交通網形成計画進捗状況」および「中間見直し」について（案）の通り承認することでご異議ございませんでしょうか</p>
委員	<p>異議なし。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>以上で、本日の議題は全て終了しました。</p> <p>マイクを司会へ戻したいと思います。</p>
司会	<p>それでは、その他事項といたしまして、バス事業とタクシー事業の業界全体の傾向や、今後の方向性について、越後交通栃尾営業所所長、河井様と見附市タクシー協会代表、長谷川様よりお話をいただきたいと思えます。まずは、河井様、お願いします。</p>
河井委員	<p>全国的にドライバー不足が深刻化する中、市の計画に対し、現状は増車にんえられていない状況となっています。</p> <p>そのような中、女性ドライバーの採用を行った。研修では、焦らせないことを前提に、毎日マンツーマンで本人が納得いくまで行った。お陰様で先週から独り立ちした。注目度が高く、歩行者などが振り向くことも多いとのこと。運転中が、女性ならではの気遣いなどの対応が出来ているようだ。今後も引き続きドライバー募集している。男女問わず若手に入ってもらいたい。</p> <p>コミュニティバスは1台増車される。いよいよ新しい段階に入っ</p>

	たと感じる。お客様に愛されるコミュニティバスとなるよう努力したい。
長谷川委員	<p>どの産業においても労働力不足となっている。そのためタクシーも台数を揃えられない。デマンドも早朝便や夕方便の依頼も来ているが、なかなか対応できない。10月から杉澤地区への延伸がある。担当会社がエリアごとに運行を行っているが、そのエリアの会社が対応できないときは協力しながら運行したい。</p> <p>コミュニティバスを始めとする公共交通は便利である。バスは当初、新町から今町まで3時間かかった。今はバスでも30分くらいである。現在でも時刻表はいらぬダイヤと感じる。</p> <p>まずは皆さんも地域公共交通を使ってほしい。</p>
事務局	<p>その他、全体を通して何かございますか。</p> <p>無いようでしたら、以上を持ちまして令和元年度、第1回見附市地域公共交通活性化協議会を終了します。</p> <p>皆様、本日は誠にありがとうございました。</p>
【閉会】 14 : 45	